



高意匠窯業系サイディングボード用クリアー塗料

ウォールバリアクリアーシリーズ

WALL BARRIER CLEAR SERIES



建築塗料の総合メーカー



高意匠窯業系サイディングボード用クリアー塗料

ウォールバリアクリアーシリーズ

ウォールバリアクリアーシリーズは、高意匠窯業系サイディングボードのデザイン性を損なうことなく、新築の美しさをよみがえらせます。

▶ 水系

水性2液反応硬化形有機・無機ハイブリッド樹脂クリアー

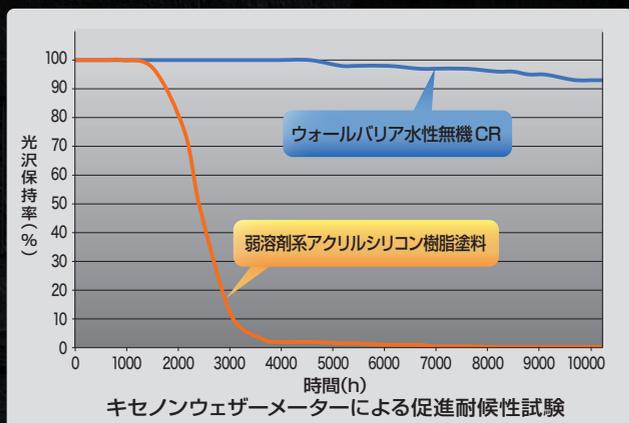
ウォールバリア水性無機CR

ウォールバリア水性無機CR 3分つや

▶ 特長

■ 超高耐候性・超高耐久性

強靱なシロキサン結合を形成する水系2液反応硬化形有機・無機ハイブリッド樹脂を使用した高耐久設計のクリアー塗料です。また、HALS（光安定剤）配合により既存塗膜から発生する・OHラジカルによる樹脂劣化を抑制します。



■ 超低汚染性

3つのセルフクリーニング効果により優れた超低汚染性を発現します。

タックフリー効果

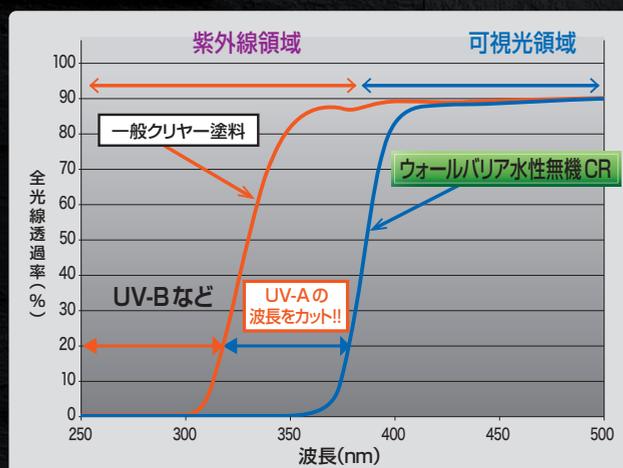
・2液反応硬化により強靱な塗膜を形成することで、塗膜の粘着が低減されベタつきません。

帯電防止効果

・塗膜表面に形成されたガラス質の親水層は空気中の水分子を呼び込み、静電気の発生を抑制し汚染物質を近寄せません。

■ 高いUVカット機能

紫外線吸収剤配合により、塗膜の劣化原因とされるUV-A領域の波長をほとんどカットします。



フロートアップ効果

・雨水が親水性の塗膜表面に濡れ広がり、汚れを浮き上げさせ洗い流します。

■ 付着性

有機と無機をナノオーダーで化学的に複合化させた樹脂は下地への浸透性に優れ、浸透後に反応硬化することで下地と強固に結合し、付着性に優れた塗膜を形成します。

■ 防藻・防かび性

微生物（かび・藻など）の発生を防ぎ、美観を維持します。

▶ クリアー塗装の注意事項

- クリアー仕上げは下地の状態に影響を受けやすいため、下地の劣化が著しい場合は塗装を避けてください（判定方法「塗装上の注意事項」参照）。ヘアークラック等の無い、新築から10年程度での塗替えが目安です。
- 10年以上経過した窯業系サイディングボードや、耐候性の低い仕上げの窯業系サイディングボードの場合、劣化が進行し、基材内部から剥離する可能性がありますので、特に劣化の進んだ南面などで試験塗装を行い、付着性を確認してください。
- 既にクリアーで塗替えを行っている物件の場合は、既存クリアーと下地の層間で剥離する恐れがありますので、塗装を避けてください。
- 本製品は、本品2回塗り仕上げですので、他の下塗等は使用しないでください。
- 高圧水洗後は、必ず晴天下で1日以上乾燥させてください。
- 強靱なクリアー塗膜を形成するため、繊細な硬化反応機構となっていますので、塗装条件をより厳格に管理してください。
- 塗膜の付着不良・白化の恐れがありますので、塗装中および最終養生期間中に、気温5℃以下、湿度85%以上にならない日を選んで塗装してください。気温5℃以上の場合でも、風が強い日は壁面の温度が低下する場合がありますので、ご注意ください。また、北面など日当たりの悪い箇所は、養生期間が長くなりますのでご注意ください。
- 長期間貯蔵された硬化剤は使用しないでください。また、開缶後は速やかに使用してください。硬化不良の原因となります。特にウォールバリア水性無機CRの硬化剤は保管状態によって反応硬化性が低下しても、硬化剤自体が固まる等の変化を生じませんので十分ご注意ください。
- 塗装中および塗膜の反応硬化中に、水分が塗膜に接触すると白化する恐れがありますので、水分の影響が予想される場合は、塗装を避けてください。反応硬化が進んでいる場合は、白化しても1~2週間程度で塗膜が元の透明に戻りますが、反応硬化初期に白化した塗膜は、元に戻らない場合がありますので、雨水・結露等、水分の影響を受けないよう十分ご注意ください。（特にウォールバリア水性無機CRはご注意ください）
- ローラー塗装の場合、つやむらを避けるため、ローラー運行は同じ方向で仕上げてください。

▶ 弱溶剤系

弱溶剤2液反応硬化形シリコン変性樹脂意匠性クリアー（黒色粒入り）

ウォールバリアBP ウォールバリアBP 3分つや

弱溶剤2液反応硬化形シリコン変性樹脂クリアー

ウォールバリアCR ウォールバリアCR 3分つや

ウォールバリアBP3分つや仕上げ



微細な黒色粒子配合によりクリアーの質感をさせた意匠性クリアーです。

▶ 特長

■ 優れた耐候性

- 耐候性の高いシリコン変性樹脂に紫外線吸収基を加えることで強靱なクリアー塗膜が形成され、優れた耐候性・耐久性を示します。

■ 低汚染性

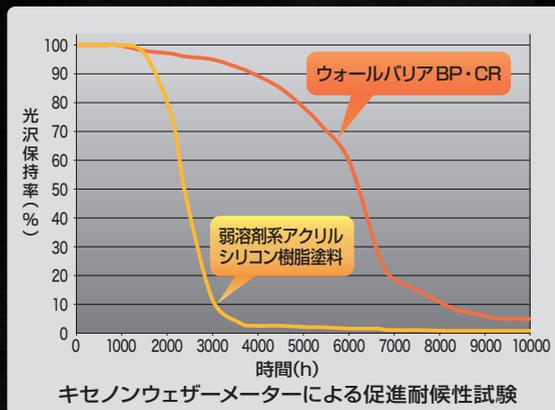
- 結合エネルギーの大きいシロキサン結合で構成された塗膜表面は緻密で粘着が少ないため、汚れが付着しにくく、付着しても容易に洗い流されるため、長期にわたって窯業系サイディングボードの美観を保持します。

■ 優れた密着性

- ウレタン結合の反応硬化により、様々な下地に対して下塗り無しでも優れた密着性を有します。

■ 弱溶剤系

- 弱溶剤系塗料なので塗替えにおいて既存塗膜を侵すリスクが少なく、安心して使用できます。



▶ 用途

建築物の内外壁

▶ 適用下地

窯業系サイディングボード各種等（但し、「ふっ素塗装サイディング」「無機塗装サイディング」の場合、予め試験塗装を行い、密着性を確認してから本塗装を行ってください。「光触媒サイディング」の場合、塗装を避けてください。塗膜が剥離しているなど窯業系サイディングボードの表面が著しく劣化している場合は塗装を避けてください。）

▶ 商品体系

- ウォールバリア水性無機CR 15kgセット（主剤14kg 硬化剤1kg）
- ウォールバリア水性無機CR 3分つや 15kgセット（主剤14kg 硬化剤1kg）
- ウォールバリアBP 16kgセット（主剤14kg 硬化剤2kg）
- ウォールバリアBP 3分つや 16kgセット（主剤14kg 硬化剤2kg）
- ウォールバリアCR 16kgセット（主剤14kg 硬化剤2kg） 4kgセット（主剤3.5kg 硬化剤0.5kg）
- ウォールバリアCR 3分つや 16kgセット（主剤14kg 硬化剤2kg） 4kgセット（主剤3.5kg 硬化剤0.5kg）

▶ 可使時間

- ウォールバリア水性無機CR

気温	5℃	23℃	30℃
可使時間 (hr)	12	8	4

- ウォールバリアBP・CR

気温	5℃	23℃	30℃
可使時間 (hr)	12	8	4

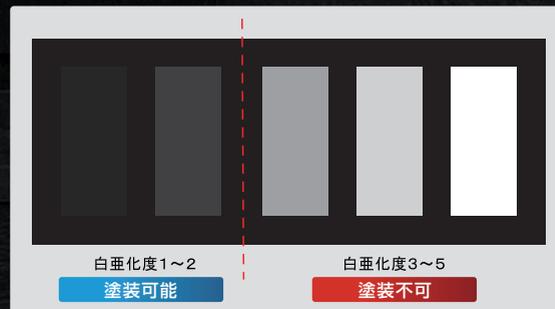
▶ 塗装上の注意事項

塗装の可否を判断するため、窯業系サイディングボード表面の劣化程度を以下の方法でご確認ください。

- 窯業系サイディングボードヘカッターでクロスカット（×印の切り込み）を入れ、布ガムテープにて剥離の有無を確認。

- 既存塗膜やクリアー層の剥離がない → **塗装可能**
- 既存塗膜やクリアー層の剥離がある → **塗装不可**

- 塗膜表面を自然乾燥させた窯業系サイディングボードヘ透明なセロハンテープを貼って十分に圧着した後に剥がし、セロハンテープに付着した白亜化物（チョーキング）を黒の台紙の上で確認。



標準塗装仕様

ウォールバリア水性無機CR

工程	塗料名	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1	素地調整	<ul style="list-style-type: none"> 汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗(水圧15MPa以上)で除去する。 水洗い面を十分に乾燥させる。 				

【つや有り仕上げ】

2	上塗り	ウォールバリア水性無機CR 清水	100 0~5	0.12~0.14	2	(工程内) 4時間以上7日以内 (最終養生) 16時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り スプレー塗り
---	-----	---------------------	------------	-----------	---	----------------------------------	----------------------------

【3分つや仕上げ】

2	上塗り	ウォールバリア水性無機CR 3分つや 清水	100 0~5	0.12~0.14	2	(工程内) 4時間以上7日以内 (最終養生) 16時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り スプレー塗り
---	-----	--------------------------	------------	-----------	---	----------------------------------	----------------------------

ウォールバリアBP・ウォールバリアCR

工程	塗料名	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1	素地調整	<ul style="list-style-type: none"> 汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗(水圧15MPa以上)で除去する。 水洗い面を十分に乾燥させる。 				

つや有り仕上げ

2	上塗り	ウォールバリアBP、又はCR 塗料用シンナー	100 0~10	0.12~0.14	2	(工程内) 4時間以上7日以内 (最終養生) 16時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り
---	-----	---------------------------	-------------	-----------	---	----------------------------------	----------------------------

3分つや仕上げ

1	素地調整	<ul style="list-style-type: none"> 汚れ、チョーキング、藻、油脂類などの付着物をブラシや高圧水洗などで除去する。 水洗い面を十分に乾燥させる。 					
2	上塗り	ウォールバリアBP、又はCR 3分つや 塗料用シンナー	100 0~10	0.12~0.14	2	(工程内) 4時間以上7日以内 (最終養生) 16時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り

※希釈剤は当社塗料用シンナーをご使用ください。

※薄め過ぎや塗付量不足により十分な膜厚が得られない場合、塗膜性能が著しく低下しますので、調合比および塗付量を厳守してください。

塗装上の注意事項

- 気温5℃以下や湿度85%以上の場合は、塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・結露が予想される時、強風(風速5m/s以上)の時は、塗装を避けてください。
- 塗装面が高温(50℃以上)の場合は塗装を避けてください。
- 塗装面は、十分に乾燥していることを確認してから塗装してください。
- 塗装面のゴミやほこりなどの付着物は取り除いてください。ウォールバリアクリアシリーズは透明な塗膜を形成しますので、付着物が残った状態での上りとなり、後から付着物を除去することができませんのでご注意ください。
- 事前に試し塗りを行い、仕上りを確認してください。
- 事前に塗装面を塗料用シンナーで拭き取り、溶解やリフティングが発生しないことを確認してください。塗料用シンナーで溶解やリフティングを生じるような既存塗膜に塗装すると、ふくれなどを発生することがあります。
- 「ふっ素塗装サイディング」[無機塗装サイディング]の場合、予め試験塗装を行い、密着性を確認してから本塗装を行ってください。
- 「光触媒サイディング」の場合、塗装を避けてください。
- 塗膜が剥離しているなど業系サイディングボードの表面が著しく劣化している場合は塗装を避けてください。
- 1回目の上塗り塗装時に、著しく吸い込みが大きい場合は、再度塗装してください。(3回塗りしてください)
- 主剤と硬化剤は正確に混合し、使用前に十分攪拌し均一にしてから塗装してください。また、可使用時間内にご使用ください。
- 3分つやの主剤は、つや消し剤が沈殿するおそれがありますので、必ず缶を逆さまにして、よく振り、均一してからご使用ください。
また、小分けで使用される際は、特にご注意ください。
- 沈殿防止のために缶を振る回数の目安は、新しいLot(製造後1ヶ月程度まで)のもので10回以上、古いLot(2ヶ月以上)では30回以上振ってからご使用ください。
- 薄めすぎは、たるみ、つや不良などを生じますので注意してください。
- 他の塗料や所定以外の希釈剤の混合は避けてください。
- 各工程の塗装間隔は、所定の時間を厳守してください。
- たれ、かすれ、塗り残しがないように均一に塗装してください。
- 3分つやは素地の形状や状態、色相などでつやが異なって見える場合があります。
- 塗付量や塗装間隔の数値は標準のものです。素地の形状や状態、塗装方法、塗装環境によって増減することがあります。
- エアレスやスプレー塗装の場合は、周囲への飛散に十分注意し、養生などを行ってください。
- 3分つやは、ローラー塗装の場合、塗継ぎむら、艶むらを起こす可能性があります。素地の形状によってはスプレー塗装をお奨めします。
- シーリング材への塗装は、可塑性によって硬化不良を起こしたり、経時で塗膜に割れ、剥がれ、汚れを生じることがあるので、基本的には行わないでください。
止むを得ず行う場合は、事前に適合性をご確認の上、ノンブリードタイプのシーリング材を使用してください。
- 目地が深い場合は、はけなどで塗装してください。また、目地部に塗料がたまった場合は、むら切りしてください。
- 開缶した状態で長時間放置しないでください。
- ウォールバリアBP・CRの塗装器具の洗浄には、スズカシンナー #1000またはスズカシンナー #2000をご使用ください。

※このカタログに記載以外の素地や仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

取扱い上の注意事項

- 取り扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具(防護マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業着・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど)を着用してください。
- スプレーミストや臭い、蒸気などが居住者、隣家、車輦などに飛散しないように留意し、十分な養生を行ってください。また、家屋の換気口、空気取り入れ口などから溶剤蒸気が室内に入らないよう目張りなどを行ってください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料中の化学物質(VOC等)に反応される場合がありますので、十分注意してください。
- 容器から取り出すときには、こぼれないようにしてください。
もしこぼれた場合には、布で拭き取って水の入った容器に保管してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量のせっけん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取り扱い後は、手洗い・うがい・鼻ごう洗浄を十分に行なってください。
- 容器は密栓し、消防法などに従って40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に、雨水や直射日光のあたる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所などでの保管は避けてください。
- 捨てるときには、産業廃棄物として処分してください。
- 本来の用途以外での使用は避けてください。
- 詳細な内容が必要なときには、安全データシート(SDS)を参照ください。
※弱溶剤系塗料を使用する時は、上記の注意事項に合わせて下記注意事項に注意してください。
- 引火性液体ですので、火気のあるところでの使用は避けてください。
- 吸引すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますので、蒸気、スプレーミストを吸い込まないよう、保護具を着用してください。
- 取り扱い作業には、局所排気装置を設けてください。
- 火災時には、炭酸ガス、粉末または泡消火器を用い初期消火をしてください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市桶町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX 059-397-6191
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071



URL <http://www.suzukafine.co.jp/>

●この見本帳に記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
●この見本帳に記載以外の下地や仕様で塗装される場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。

20/04

取扱店

◎